

カトリック葛西教会 **Kasai Catholic Church**  
**受難の主日 Palm Sunday**

「お前がユダヤ人の王なのか」 (マルコ 15:2)

Are you the king of the Jews? (Mk 15:2)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15  
 1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo  
 Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449  
<http://kasaicc.net/>



主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)  
 日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)

今日の行事予定 : 枝の主日 (受難の主日) **P a s s i o n S u n d a y**

イースターエッグ

お一人6~7ヶお願い致します。暖かくなりましたので、必ず4月1日当日の朝、堅ゆでにして、10分以上しっかり冷やしてからラッピングしてお持ちください。玄関に籠を用意いたします。

献堂 50 周年記念事業第 7 期(7 月~12 月)献金報告

2018 年第 8 期報告 (2018 年 2 月末現在)  
 申込者数 : 40 名 (目標 : 200 名)  
 献金合計 : 1,715,000 円(目標 : 3,000,000 円) 1 期からの合計は 20,881,872 円です。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお問い合わせください。

50 周年ロザリオの祈りの報告(2017 年分)

2 月は 5 名 102 環です。累計 15 名 225 環です。2018 年も 3,000 環が目標です。よろしくお願ひ致します。  
 (50 周年委員会)

これからの主な予定

3 月 25 日(日)	枝の主日	
3 月 28 日(水)	フィリピン共同体の黙想会とミサ	
3 月 29 日(木)	聖木曜日	19:00 ミサ
3 月 30 日(金)	聖金曜日	19:00 典礼
3 月 31 日(土)	復活徹夜祭	19:00 ミサ
4 月 01 日(日)	復活の主日	10:00 16:00 ミサ

Kasai Church 50<sup>th</sup> Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals 20,881,872 yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

ウルスラ修道会でのミサ

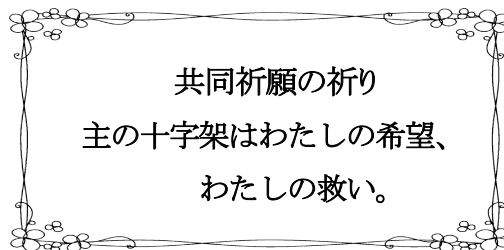
これからの予定は 4 月 19 日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に! 皆様ご参加下さい。

一粒会より

3 月 11 日一粒会総会の資料と、一粒会のしおりを入手しましたので、ご自由にお持ちください。「一円玉献金」を続けていますので引き続きご協力をお願い致します。(内村)

聖書朗読会

聖書朗読会は原則毎月第 4 日曜日のミサ後 11:30 より小聖堂で行っています。次回は 4 月 29 日(日)11 時 30 分からです。たくさんの方の参加をお待ちしています。  
 (官教部:シスター植木)



今週の掃除は4月7日(土)  
北・西葛西グループです。皆さまご参加ください。  
This Week's Church Cleaning Duty April 7<sup>st</sup> Saturday  
**Kita・Nishi-Kasai Group**

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように  
聖堂との境からタイル2枚分(約60cm)あけて並べて下さい。

献堂50周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の  
内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心一つにして準備作業を  
行っていきたくと考えています。ご協力をお願い致します。

『受難の主日(枝の主日)』B年

今日の福音 マルコによる福音(11:1-10)

一行がエルサレムに近づいて、オリーブ山のふもとにあるベトファゲとベタニアにさしかかったとき、イエスは二人の弟子を使いに出そうとして、言われた。「向こうの村へ行きなさい。村に入るとすぐ、まだだれも乗ったことのない子ろばのつないであるのが見つかる。それをほどいて、連れて来なさい。もし、だれかが、『なぜ、そんなことをするのか』と言ったら、『主がお入り用なのです。すぐここにお返しになります』と言いなさい。」

二人は、出かけて行くと、表通りの戸口に子ろばのつないであるのを見つけたので、それをほどいた。すると、そこに居合わせたある人々が、「その子ろばをほどいてどうするのか」と言った。

二人が、イエスの言われたとおりに話すと、許してくれた。二人が子ろばを連れてイエスのところに戻って来て、その上に自分の服をかけると、イエスはそれにお乗りになった。多くの人が自分の服を道に敷き、また、ほかの人々は野原から葉の付いた枝を切って来て道に敷いた。そして、前を行く者も後に従う者も叫んだ。

「ホサナ。主の名によって来られる方に、祝福があるように。

我らの父ダビデの来るべき国に、祝福があるように。いと高きところにホサナ。」

聖書新共同訳より引用

**A Reading from the Holy Gospel according to Mark (11:1-10)**  
*Blessing on him who comes*

When they were approaching Jerusalem, in sight of Bethphage and Bethany, close by the Mount of Olives, Jesus sent two of his disciples and said to them, "Go off to the village facing you, and as soon as you enter it you will find a tethered colt that on one has yet ridden. Untie it and bring it here. If anyone says to you, 'what are you doing?' say, the Master needs it and will send it back here directly." They went off and found a colt tethered near a door in the open street. As they untied it, some men standing there said, "What are you doing, untying that colt?" They gave the answer Jesus had told them, and the men let them go. Then they took the colt to Jesus and threw their cloaks on its back, and he sat on it. Many people spread their cloaks on the road, others greenery which they had cut in the fields. And those who went in front and those who followed were all shouting, "Hosanna! Blessings on him who comes

in the name of the Lord! Blessings on the coming kingdom of our father David! Hosanna in the highest heavens!"

This is the Gospel of the Lord

【 召命を求める祈り 】

「あなたがたが、わたしを選んだのではない。

わたしが、あなた方を選んだ」(ヨハネ 15・16) と仰せられた主よ、  
使徒の心をもってみ国のために働く人を選び、お送りください。

人々のために自分を捨ててキリストに従う人、

新しい天と地のために、清い心で聖母に倣う人、

福音を証しするために、十字架を担う人、

若者の救いのために主に倣う人、

悪は避けながらも、悪人の救いに歩み寄るひと、

ほほえみで周りを照らし、愛の心で皆を温める人、

神を信じ、人々に自分を開く人、

一粒の麦のように地に落ちて死に、豊かな実を結ぶ人、

主よ、このような人々を数多く選び、あなたの畑に遣わし、

主と共に働かせてくださいますように。

主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

